

雇用サポート ネットワーク ニュース

2025. 秋号

発行 埼玉県障害者雇用総合サポートセンター
企業支援業務部門

さいたま市浦和区北浦和 5-6-5

浦和合同庁舎 別館 1 階 TEL 048-827-0540

第二回 障害者雇用サポートセミナー開催

9月12日浦和コミュニティセン
ター多目的ホールにて令和7年度
『第二回障害者雇用サポートセ
ミナー』を開催いたしました。

今回のテーマは『企業の発展は障
害者雇用から』企業のイノベー
ションの鍵を開ける』と題し、会
場235名とオンライン213名、合計448
名の方に参加いただきました。

基調講演は『障がい者雇用は企業
のイノベーションの鍵』と題し、横
浜市立大学名誉教授の影山摩子
氏よりご講演いただきました。



横浜市立大学名誉教授
影山氏

続いての事例発表①では、(株)ヤ
オコーダイバーシティ推進担当部長
の佐藤かほり氏より『ヤオコーの強
さの源は「人」』人の成長が企業の
成長になる』、続いて事例発表②で
は、(株)ヤオコーハーマニーマネジャ
ーの菅原美佐氏より『チームで仕事
』人とのハーマニーが生み出す明

るい職場』、最後に事例発表③は(株)ヤ
オコーの西野達也氏より『戦力とな
るためには』と題して、それぞれお
話いただきました。



パネルディスカッションの様子

最後に
4名が登
壇し、当セ
ンター朝
日雅也が
コーディネ
イター
を務め、『
イノベー
ションの
鍵を開け
る』をテー

マにその鍵を開けるきっかけや意
義についてディスカッションを行
いました。

参加者か
らは「障害
者雇用にネ
ガティブな
印象を持つ
ことが多い
が逆に有為



セミナー会場の風景

であることを説明いただいた」
「色々な個性がある方と働くこと
は、企業の発展や人間関係の改善に
繋がるという事例を講義の中で拝
聴し、なるほどと納得のいく内容で
した」「本人が自発的に希望したこ
とを無理と決めつけずに挑戦出来
る環境を整える姿勢が参考になっ
た」「障害者雇用に関わらず早期の
戦力化が求められるが、楽しく仕事
をする工夫が随所に感じられ、ほほ



チーム ヤオコー
佐藤氏・西野氏・菅原氏

えましく感じた」「ご本人の生の声
は大変参考になった」等、多くの方
から好評をいただきました。



埼玉県マスコット
「コバトン」

障害者雇用企業見学会 及び情報交換会

東松山紙器工業株式会社にて開催

令和7年7月30日、東松山紙器工業(株)を会場として『障害者雇用企業見学会及び情報交換会』を開催しました。



東松山紙器工業株式会社
曾根岡氏
当日は35名の猛暑の中、16社の30名の皆

さまにご参加いただきました。

冒頭、取締役の曾根岡舞子氏より、会社概要と障害者雇用の取組についてお話をいただいた後、製造部第一工場長、第二工場長の案内で作業の様子を見学させていただきました。

参加者からは、「障害の程度に合わせた仕事を切出しているところ」が参考になった、「障害者の対応をする既存社員へ



会社概要説明時の風景

のフォローが大切」との声が多く寄せられました。

更に、定着のため、

面談の進め

方、現場での理解知識共有に注力、支援機関との連携など組織として取り組んでいることに、今後の足がかりをつかめたようでした。

また情報交換会は独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構埼玉障害者職業センターと連携し、主幹障害者職業カウンセラー橘敦氏による事業主支援ワークショップを開催しました。



埼玉障害者職業センター
橘氏

ワークショップでは『精神疾患や発達障害を有する従業員の雇用管理のポイント』に、参加者の活発な意見交換が繰り広げられました。



工場見学の様子

情報ひろば

「治療と仕事の両立支援」 努力義務化へ！

労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律（略称：労働政策総合推進法）に、『治療と仕事の両立支援』に関する事業主の責務が

<治療と仕事の両立支援に関する主なサイト>

○厚生労働省：治療と仕事の両立について

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000115267.html>

- ・2026年度から事業主の努力義務となります！（[労働施策総合推進法改正](#)）
- ・事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン
- ・助成金のご案内
- ・労働者や事業者が利用できる支援制度・機関 など

○厚生労働省：治療しながら働く人を応援する情報ポータルサイト 治療と仕事の両立支援ナビ

<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/guideline/>

明記されました。施行期日は、令和8年4月1日です。

その内容は、『事業主は、疾病、負傷その他の理由により治療を受ける労働者について、就業によって疾病又は負傷の症状が増悪すること等を防止し、その治療と就業との両立を支援するため、当該労働者からの相談に応じ、適切に対応するために必要な体制の整備その他の必要な措置を講ずるよう努めなければならない』というものです。

詳細は、上記の関連サイトをご参照ください。また、当センターでは『治療と仕事の両立支援』に関する出前研修も承ります。

令和7年度地域別最低賃金改訂

都道府県	最低賃金時間額
埼玉県	1,141 円（ 1,078 円）
東京都	1,226 円（ 1,163 円）
千葉県	1,140 円（ 1,076 円）
群馬県	1,063 円（ 985 円）
栃木県	1,068 円（ 1,004 円）

出典：厚生労働省HP（ ）内は改定前
*埼玉県の発効日は11月1日